

2007アメリカ体験旅行 参加者の感想

① この2日間の感想

1. アメリカの文化は、日本とは違って、アバウトだったということを感じた。3日目に、日本との時差の関係で、しんどい時が何度かあった。だんだんとアメリカの生活に慣れることができた。たくさんアメリカ人と積極的に会話することができた。
2. 僕は、最初は緊張していて、あまりサクラメントの人達と話すことができなかったけど、だんだん緊張しなくなり、自分の分かる英語くらいなら話せるようになった。また、サクラメントの人たちはテンションがとても高く、ノリもよかったので、自分も合わせられるようにしたい。
3. 外国(アメリカ)の人は、とってもフレンドリーでなじみやすかったし、アメリカに来る前は、とっても緊張していて上手く喋れなかったでしょう・・・とか、いろいろ不安でした。けれど、とってもなじみやすいアメリカの方々を感じて、そんな緊張も、不安も全部吹き飛びました。なにもかも笑顔で英語が分からなくて困っている私を見て、一生懸命、日本語に直そうとしている方々をみて、すごく嬉しかったです。自分のために一生懸命やってくれることは、とっても嬉しいです。だから、私も日本に帰ったら一生懸命、誰かのために何かができる人になりたいと思いました。そして、あの笑顔も私のいつものひきつった顔(?)じゃなくて、すごく本気で(?)笑っている様でした。だから私もニコリできる様になれたらいいな。コーチの前で・・・
4. すること1つ1つが全て初めてのことでとてもとまどった。常に英語と接するので、とても新鮮だった。食べ物がとても油っこくて疲れた。時差ボケがとても大変だった。
5. まず、大野コーチから前にアメリカの人たちはもっとオーバーにリアクションをとる、というようなことを言われていたけど、自分が想像していた以上にオーバーだったので本当に驚きました。あと空港に着いた時からアメリカと日本の違いがすごく伝わってきました。ホームスティ先の人たちやSASFの人達が空港に来てくれた時は驚いたけど、すごく嬉しかったです。英語を話すのは緊張していたけど、今は慣れて、自由には伝えられないけど、どんどん話していきたいと思えます。食事の量が本当に多くて肉しかないのは大変でした。天理教についてからもいろんな人たちが親切にしてくれてほとんど不自由なことはありませんでした。1日目の夜はホームスティ先の子たちと話すとき通じないこととかもあったけど、2日目は1日目より仲良くなってこれからも話して仲良くなりたいと思いました。練習のときとか、岡田さんなどすごい人たちが来てくださってありがたいなと思いました。岡田さんのパスはすごかったです。アメリカの子たちは本当に積極的なので、自分もどんどんいこうと思いました。
6. 最初は恥ずかしくて言えなくて、言えたとしても小さい声だった。でも、だんだんと慣れてきて、「ありがとう」などをたくさん言えたからよかった。相手も、「どういたしまして」と答えてくれるのが、とても嬉しかった。「Picture、Picture」といって、たくさんの写真を撮ってくれたから、みんなとも仲良くなれたからよかった。

7. 英語が話せないけれど、頑張って話そうと思ったけれど、実際会うと、全く話せなかったのがダメだと思いました。飛行機の中では、少しうるさかったと思います。 sacrament について時、私たちが歓迎してくれて、とてもうれしかったです。自分も明るい顔でいなくちゃと思いました。シユワちゃんの部屋ではたくさんの写真を見れてよかったです。たくさんの人が親切にしてくれて、とてもうれしかった。
8. 日本と全然違うから過ごしくかったです。でもだいぶ慣れてきて楽しくなってきました。相手に気を使うことや、迷惑をかけたらいけないなどということがすごく分かりました。
9. 最初はとても緊張していて目を見ることもあまりできなかったけど、今ではだんだんと慣れてきて、まだ緊張しているけど、少しずつ目を見て話すことができるようになってきたと思いました。英語が分からなくてもとにかく答えるようにしようと思いました。
10. 1日目は、アメリカについて自分で、自分のことばかり考えていました。また、アメリカでバスケットをするということよりも、友達を作ったり、外人さんと話すことばかり考えていました。2日目は、アメリカでの生活に慣れはしなかったけど、自分たちが何をしにここに来たのかを考えて練習も一生懸命声を出して頑張りました。夜はたくさん友達ができました。
11. 初日。何もかもが初めてでした。飛行機を降りた時からすごい歓迎してもらって、すごくうれしかったです。すごく写真をとったりして、びっくりしました。周りの人も日本人ばかりで、最初はアメリカにきているとは、はっきり分かりませんでした。でも、天理教の教会にきたり、パワーやまちに行ったりすると、英語がとび交っていて、ようやくアメリ的な感じになりました。まわりの人にあいさつをすることもできたり、質問されて、よく分からない(答えるのが)ときでも、単語をうまく分かってくれたのでうれしかったです。
12. はじめて外国に来て、まだうまく英語を話せない自分が、外国人と仲良くなれるかと、不安は大きかったけれど、2日間を過ごしてみて、もう不安はなくなりました。たくさんの人と話したけれど、皆、一生懸命僕の話聞いてくれて、とてもうれしかったです。単語を話そうとしたので、会話することができたんだと思います。本当に会話が楽しいので、もっとたくさんの事を話して、10日後の別れがさみしくなるぐらい、仲良くなりたいです。
13. 時差ボケで初日はねむたくて元気がなかったが、二日目は少し慣れて、いつも通りでいられるようになった。二日目は外国の人と話すのをちゅうちょしていたが、色々な人が話しかけてくれるので、あまりとくいではない英語でも、話しかけようと思えるようになった。日本とアメリカの文化のちがいで、まだ、食事はなかなか食べるができないけど、ホームステイではがんばって食べたい。Thank you の発音が上手になったと思う。
14. あいさつが不十分だと思った。もっと心から「Thank you」という感謝の気持ちをしなければならなかったと感じた。すごく sacrament の人たちは明るくていい人ばかりでよかった。でも、私たちは「疲れた」などを平気で言ってしまう。 sacrament の人も忙しいのに、私たちがそんなことを言われてはいけないと思った。外国の人とは結構積極的に話していった。声をかけたり、簡単な会話をしたり、だいぶ英語に慣れてきた。反省点を改善しつつ、充実した日々を送りたいです。
15. 初めは、なかなか英語で話せず、とても緊張や不安がありました。でも、除々に不安や緊張がほぐれました。パーティでは、 sacrament の友達と気楽に話すことができました。残りの数時間もがんばっていきたくたいです。残りの数日間で少し英語ができるようにしたいです。

② 自分がやらなければならないこと

1. キャプテンとして、自分のことでなく、チーム全体として見なければならないと感じた。ちょっとした心配りなども自分が進んでするとともに、チーム全体に呼びかけることが大事だと感じた。
2. もっと積極的にサクラメントの人たちと話したいと思う。自分から話しかけて、会話をたくさんしたい。あと、今日注意されたことは、もう一度注意されないようにしたい!
3. まず、ドア。開けてくれたり、それを待っててくれたり・・・自分でできることは、やらなければならないと思います。食事のご飯も向こうが指示してくれる、あるいは指示してくれるのを待つ・・・これもダメだと思いました。自分から「なにか手伝えることはありませんか?」と聞かなければならないと思いました。英語でというと「What can I help you?」かな?もし伝わらなくても、そういう態度は見せたいと思います。もっと気配りをしたいと思いました。
4. まず一つは、相手への配慮。簡単な単語でいいので使って相手とコミュニケーションをとる。感謝の気持ちを忘れないようにする。そして、とにかく相手に迷惑をかけないと思った。
5. 一番感じたことはいろんな人やことに対して感謝の気持ちを表すことです。言葉で Thank you とは言っているけど、もっと心から伝えなければいけないと思いました。積極的に行動し、あとまだまだコーチたちに怒られているので、自分たちで考えて失礼のないように行動しなければならないと思いました。疲れていてもせっかくなしてあげていることだからそういうのを顔に出してはいけないと思いました。
6. ドアを開けて持っている人に素通りしてしまったことがある。「変わります」といって、交代することを気をつけたいと思った。
7. アメリカの人と自分たちは文化が違っていて、ドアをあけたら持つとくということが、わかったので明日からするようにする。朝ご飯の支度にとりかかるのが遅かったので、もっと早く行ってやりたいです。
8. 他人に迷惑をかけないこと。自分のことは自分です。アメリカの人は、たくさん話してくれるから、自分に分かる単語をつなげて話さないといけない。
9. もっとサクラメントの人たちと会話して、仲良くしようと思いました。テンションを上げる。積極的に会話をする。
10. 行動するときに、いつも歩くのが遅いと注意されたり、「どことこの方へ行く」と言われたときに誰かが先頭にならなければいけないのにもたもたしてしまいました。私たちが、より多くの場所を訪れることができるようにコーチたちが考えてくれているので、時間をむだに使わないように、自分が声をかけてきばき行動したいです。
11. まずは、お部屋のそうじです。自分が使ったところなので、しっかりそうじをしてから出たいと思います。あとは、ご飯の時。女の子がコップ洗いとか、準備とかをするべきだと思いました。英語をしゃべることも、とっても大切だと思うので、一言でもしゃべりたいです。
12. 教会の人達が、朝ご飯をつくってくれたり、たくさんのをしてくれるのに、自ら手伝ったり、一つ一つの事に気付いたりできないのは、少しポーとしているからなので、もっとサクサクと気付け、動けるように努力したいです。

13. 自分のことが自分でできていなくて、迷惑をかけているので、日本で練習していた、荷物の整理や、集合の時態度はちゃんとしたいと思う。荷物の準備は前日にしてなかったのでみんなに迷惑をかけたから、残りの日は前の日に準備する。
14. もっと手伝いを積極的にやらないといけないと思った。また、私たちをヘルプし、支えてくれる人の思いやりや感謝を絶対に忘れてはいけないと思った。他にも、疲れていても、すばやく動くこと。1つ1つの行動をもう1度ていねいに見直していきたい。荷物の整理や、道や通路で広がらないことなど。
15. 周りの気配りです。まだまだ僕は、誰かが荷物を運んでいる時などに気配りが、あまりできていないと思います。だから、これからは気配りを心がけたいです。

③ 失敗したこと

1. ちょっとした心配りや、感謝の気持ちの面で、かけていたところがあった。道で止まる時は、端によることや、荷物をまとめることや、感謝の気持ちを伝えることは、普通に気をつければできることなのに、できなかった。
2. 何度も注意されたのに同じことを繰り返してしまったこと。何も言われずにどこかへ行ってしまったこと。
3. 英語で話しかけられて、なにがなんだか分からなくて、なにもしゃべらなくて、オロオロしていたことが、ダメでした。その時は、異文化レッスンで習った、「one more please」を使わないといけないと思いました。部屋がきたないこと。もっとちゃんとキレイにできるはずなのに、ちゃんと片付けられなかったです。ちゃんと片付けます。
4. 自分がほとんど知らない土地だからといって、案内してくれる人に全てやらせたことが失敗だったと思う。もっと自分でもできることは自分でしようと思った。
5. ごはんを食べるのが遅かったこと。手伝ってくれている人たちをあまり手伝えなかったこと。
6. 最初のパーティーの時、あまり話すことが出来なかった。コーチ達がいっているように、上手にしゃべらなくてもいいから、大きく表現したいと思った。相手の人も困ると思うから、ちゃんとしていきたいと思った。
7. 話しかけられたときに、かたまってしまってほとんど話せなかったのがいけないと思いました。移動する時に、時間がないのに歩いてしまったことがあったので、それをなおしたいと思いました。ドアをあけたときにもっていなかったことは失礼なのだと知ったので気をつけたいです。
8. 人に「これして。」などを言い過ぎました。なので次からは、自分が思ったことは自分でするようにする。
9. 英語が分からないときに黙ってしまったこと。自分からあまり話そうとしていなかったこと。

10. シティホールや衆議堂などを訪れたとき、いろいろなところにドアがありました。初めに通った人がおさえてくださっていたけど、私たちがやらなければならないことだと思いました。サンドイッチ、水などを配るときに、ヘルプの方が持ってくださいるので、自分たちのことは、自分でしようと思いました。自分たちの部屋の近くに部屋をかしてくださっている方が、住んでいるのを知らず、さわいでしまいました。注意されてからは、しっかりみんなに声をかけて注意するようにしました。お風呂のマットをぬれたまま置いてきてしまいました。ヘルプの方への感謝を忘れないようにします。
11. アメリカの人が、日本語で通訳をしてくれたりするときにその通訳の人に甘えてしまったと思います。荷物などを、その場においてちがう所に行ってしまったこと。これは、特に気をつけたいと思いました。英語で話すときも、少しよもよもしていたので、それもなくていききたいです。
12. 教会に来て、すぐ、男子はストリートバスケットをしに行ったのだけれど、その時に、コーチに言わず出て行ってしまった事。コーチの話をよく聞けていなかった事。
13. 日本で何度も言われていた、自分の荷物管理と、体調管理が上手くできていなかった、大野さんには日本で何度も言われたのに、まだまだできていない時がある。飛行機の中ではあまり寝れず、初日の活動に悪影響がでてしまった。
14. 部屋のドアや電気など、生活する場での片付けがきちんとできていなかった。「1日中飛行機に乗っていたから」という理由で、自己中心的になっていたこと。自分の都合のいいように動かしていたこと。人の話を聞かず、友達にあとから聞いたりしていたこと。
15. 大野コーチがよく言っている「Yes」、「はい」の返事です。何回も言われているのに、言えていなくておこられたので、これからはしっかり「Yes」、「はい」を言っていきたいです。

④ ヘルプをしてきている人々への感想

1. 寝るところがあるのも、食べている物があるのも、いろいろな場所に行けるのも、誰かが僕達のために動いてくれるからである。僕達は、当たり前前にアメリカで過ごしているが、その裏には、たくさんの人々の支えがあることが分かった。たくさんの人々に感謝をしたいと感じた。
2. 僕たちは、英語があまりわからないので、通訳をしてくれたおかげで何とかやってこれた。この人たちがいなければ何もわからないまま日本に帰っていたと思う。
3. 自分のことで、大変なのに、私たちのこと、やってくれることに感謝です。私がおこりに来たのは親のおかげ(ほんとに感謝)だけど、SASFとかも、すべてヘルプしてくれる人のおかげです。だから、ちゃんと「Thank you」と言いたいです。
4. とても感謝すべきことばかりだと思った。この思いを忘れないようにしたい。
5. まず、本当にありがたいと思います。ここまで私たちにしてくれるのに、どれだけ苦労しただろうと思うとありがたいです。みなさん親切で親しみやすく良かったです。
6. ほとんどのことをやっていてくれていて、私達がほとんどやらなかった。自分にできることは進んでやりたかった。また感謝の表現を、もっと大きくしたい。きっと相手の人もよろこんでくれると思うから。

7. 毎朝むかえにきてくれて、いつも車でつれていってくれて大変なのにありがたいと思いました。みなさん、嫌な顔一つせずに笑ってのせてくれてうれしかったです。
8. 日本とぜんぜんちがう場所だから、すごく緊張したけどヘルプしてくれている人たちが言葉はよく分からないけど、話しかけてくれたり笑ってくれたりするので、すごく安心しました。自分の子どもがいるのではないのに、一生懸命してくれるのでありがたいです。
9. サクラメントの人たちがとても親切にしてくれているけど、やってもらえばかりではなくて、自分のできることは全てきちんとしようと思った。こちらからも相手の人に親切にしようと思った。
10. 朝ごはんのときやお風呂のときなど、いつも私たちに快く接してくださいました。また、私たちが来る前には、部屋のベッドを作ってくださったので、すごく大変だったと思います。だから、そのことを常に頭において、私たちができることは、なるべく自分でしようと思います。日本の代表者として、人間として、はじのないようにしたいです。
11. 今日は、ごはんを食べていると中なのにトレーをもったまま運転してくれたのが、心に残っています。ヘルプしてくれた人は、それなのに、にこにこ笑ってのせてくれて、すごくうれしかったです。私も、何らかの形でおかえしたいです。
12. 見ず知らずの僕達に、とても良くしてくれて、本当に感謝の気持ちでいっぱいです。例えば、朝ごはん。こんなにたくさんの方の朝ごはんを作るのは、とても大変だと思うのに、おいしいごはんをたくさん用意してくれて、本当に感激しました。その他には、とても高価で大量なバスケットボール用品を僕達のために用意してくれたり、移動の時、長い距離なのに、むかえに来てくれたりして、本当に感謝しています。
13. 見ず知らずの僕らと松山の代表として迎えてくれて、とても親切でうれしかった。だが、僕たちは、大野さんに言われるまで、手伝いをしなかった。朝は僕たちのことを考えてとても食べやすいように作ってくれて、お米までだしてくれた。運転では、疲れているのに何時間も運転してくれて、僕たちは楽しく過ごしている。なので、車に乗るときは「お願いします」や、降りる時に、「Thank you」と言いたい。
14. すごく私達を良くしてくださって、すごくリラックスして過ごすことができている。すごく大変なのに、人数分のごはんを作ってくれたり、くばってくれたり。車で自分たちを運んでくれたり、ヘルプの人がいないと私達は何もできない。そんな支えてくれる人の感謝の気持ちを大切に、またそれをもっと態度で示したいと思った。また、少しでも多くのコミュニケーションをとったり、その人の話をしっかり聞こうと思う。
15. サクラメントの人達はとてもいい人ばかりです。こんなぼくたちのことを大事にしてくれてとてもうれしいです。